

バスに乗って
お出かけしよう!

Let's go!!

北田原線沿線

TRIP

おでかけマップ



82系統
北田原線

北田原バス停

北田原口バス停

下田原バス停

山口川バス停

出店バス停

岩屋口バス停

お松の宮バス停

南田原バス停

新生駒台北口バス停

生駒駅北口バス停



Let's
Enjoy!!



○ 北田原線沿線おでかけマップの製作にあたって

令和4年3月に奈良交通株式会社から「北田原線」を含む市内路線バス4路線に対して、路線の廃止や見直しの提案がありましたが、地域の皆様の積極的な利用等により、バス利用者数が増加傾向にあり、収支改善の兆しが見えてきたことなどから、令和6年3月に、今後も運行が継続されることに決定しました。



<北田原線沿線の三者協議のメンバー>

この継続決定には、利用者・事業者・行政による「三者協議」等において、利用促進に継続して取り組んできたことも大きな後押しとなりました。

三者協議について
詳しくはこちら



しかしながら、利用者が減少すると再度路線の見直しが必要となるため、持続可能な路線バス運行に向けて、今後も三者協議での話し合いを継続し、三位一体で利用促進に取り組んでいく必要があります。

今回、「北田原線」を対象とした三者協議「奈良交道路線バス(北田原線)利用促進に向けた三者協議」では、令和6年2月から本格的に活動を始め、令和7年3月までに6回以上の協議を重ね、「北田原線沿線おでかけマップ」を作成しました。

北田原線沿線を楽しんでおでかけできるように作りましたので、ぜひご利用ください。

○ 北田原線沿線おでかけマップについて

- このマップは、北田原線沿線の魅力を県内外に広く発信し、多くの方に来てもらいたい、という思いを込めて作りました。
- 星和台で2コース、南田原町で3コース、北田原町で2コースの計7コースあります。
- 地域の歴史や自然を楽しめる場所や、ここでしか味わえないグルメなどが掲載されていますので、地域に住んでいる方も、新しい発見や出会いがあるかもしれません。

自然を
楽しむ

歴史を
知る

美食に
出会う

○ 北田原線沿線おでかけマップのご利用にあたって

- マップに掲載している徒歩時間は目安です。また、トレッキングや山登り等の経験を推奨する場所も一部ありますので、無理のない範囲でお楽しみください。
- マップに掲載している立ち寄り場所には貴重な文化財や個人で管理している場所もありますので、むやみに手で触れたり、ゴミを捨てたりすることのないようお願いします。
- マップにはお手洗い  を掲載していますが、ご利用を希望する場合は、その施設の方へ、直接お声かけください。

公共交通の利用方法

奈良交通のバスの利用方法

【申告後払い方式】

前の扉から乗車
●乗客の乗降席では、すべての扉が開きます。開いている扉から乗車ください。

乗車手続き
【ICカードをご利用の方】
●始発の降降席から乗車の方は、乗降はできません。そのまま降りてください。
●途中から乗車の方は、ICカードを乗降席の機にタッチしてください。
●乗降時にタッチしていないICカードは、始発駅からの運賃が精算されます。
【現金・現金券をご利用の方】
●手紙はあつせんよるお支払おください。

精算して降車
【ICカードをご利用の方】
●ICカードを乗降席の機にタッチし、精算してください。
【現金・現金券をご利用の方】
●乗降席に設置したバス精算機に現金・現金券を投入し、乗降してください。
●乗降機が故障の方は先に同乗を済ませてください。

【申告先払い方式】

前の扉から乗車
●乗客の乗降席では、すべての扉が開きます。開いている扉から乗車ください。

乗車手続き
【ICカードをご利用の方】
●乗降席に設置したバス精算機にICカードをタッチしてください。
●乗降時にタッチしていないICカードは、始発駅からの運賃が精算されます。
【現金・現金券をご利用の方】
●乗降席に設置したバス精算機に現金・現金券を投入し、乗降してください。
●乗降機が故障の方は先に同乗を済ませてください。

後ろの扉からそのまゝ降車
●乗客の乗降席では、すべての扉が開きます。さくの扉から降車ください。

奈良バスナビweb

生駒駅での北田原線の乗り場は北口①

近鉄生駒駅のバス乗り場から
北田原線のバスに乗車するには
【北口のりば①】までお願いします。

- ① 生駒北口 (北口)
・生駒北口 (北口)
・北田原
・生駒北口 (北口) 方面
- ② 生駒南口 (南口)
・生駒南口 (南口)
・生駒南口 (南口) 方面

生駒駅【北口】		北田原線[82系統]		
時間	平日	休日		
8	20	20		
9	21	21		
10	21	21		
11	21	21		
12	21	21		
13	21 51	21		
14	51	21		
15	51	21		
16		21		
17	2 35	2 32		
18	10 36	2 32		

・8時~13時までの時刻を記載

近鉄電車や奈良交通の時刻表の案内

近鉄電車の時刻表

時刻表
検索は
こちら



奈良交通の時刻表

時刻表検索は
こちら

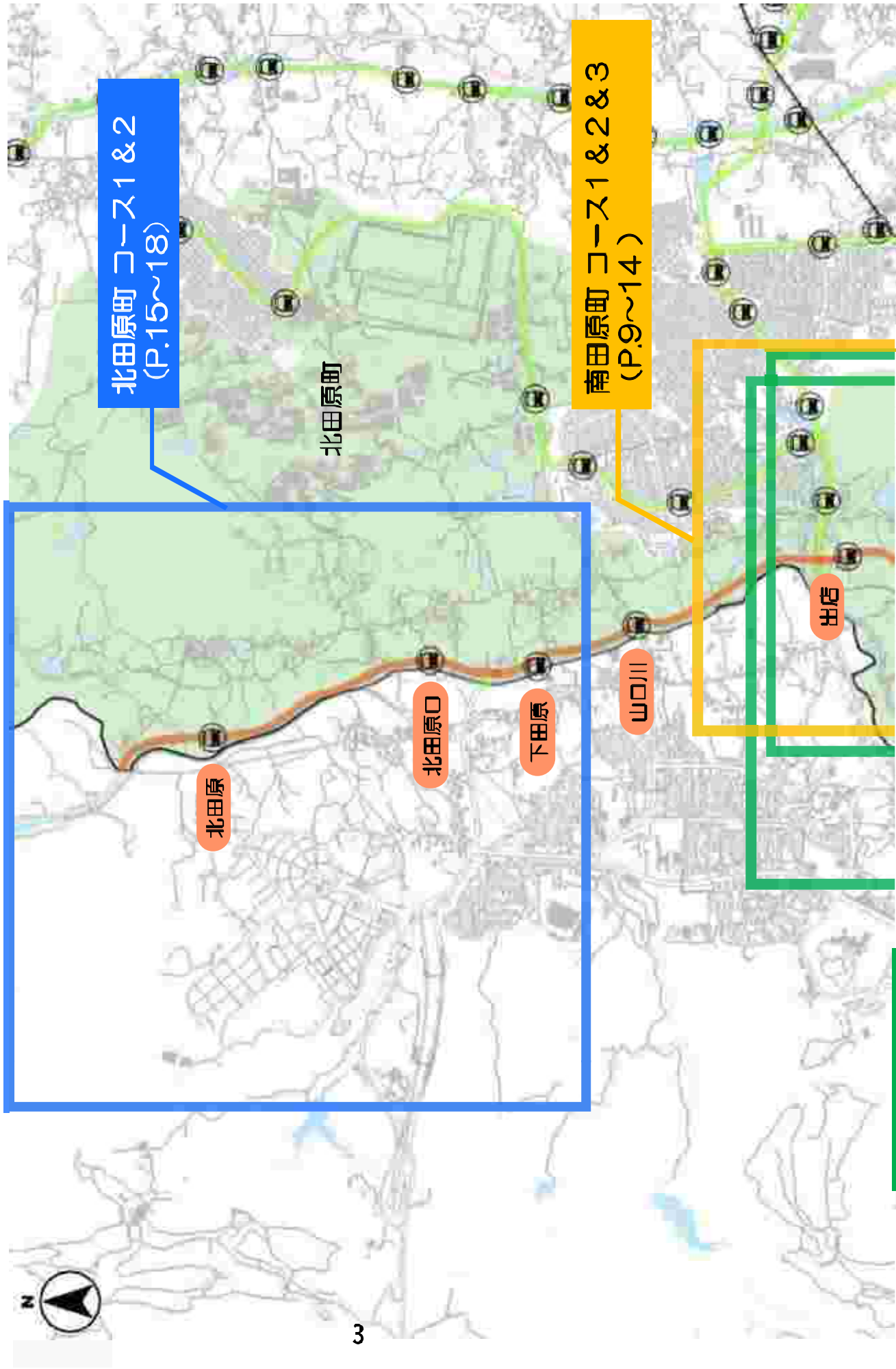


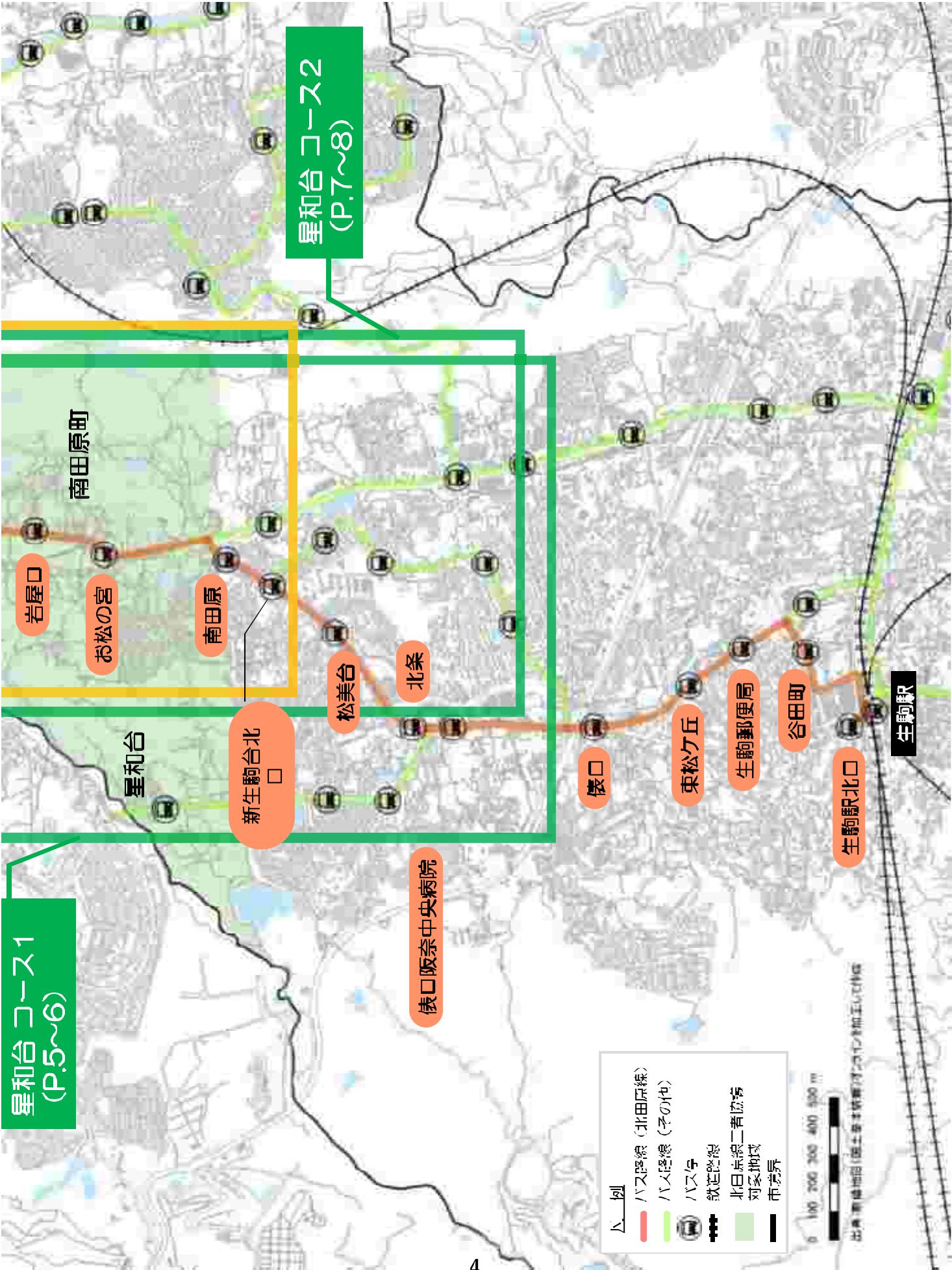
奈良交通のバスの位置情報

バスの位置情報は
こちら

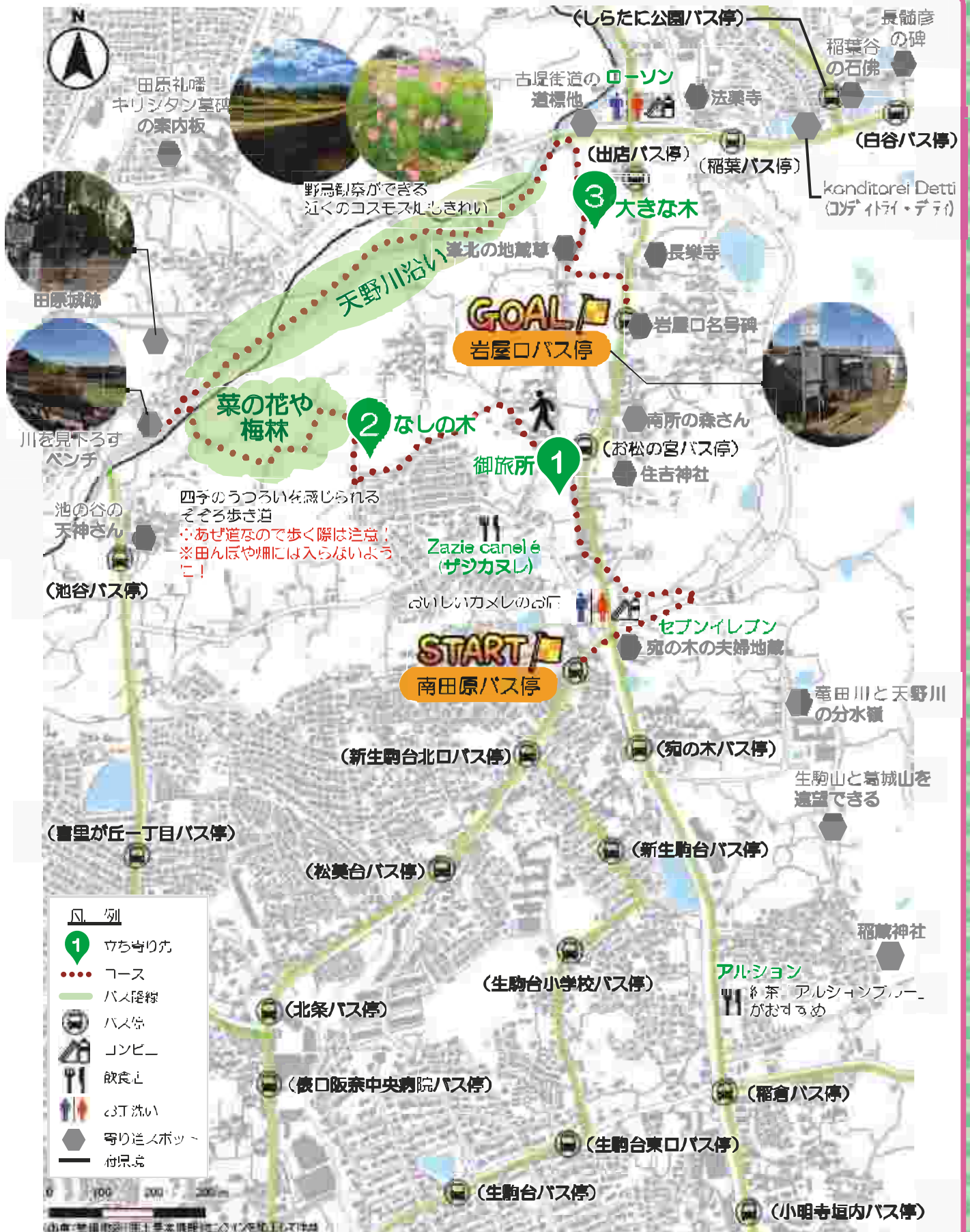


北田原線沿線おでかけマップ索引図





そぞろ歩きコース



所要時間
徒歩1時間

市HP

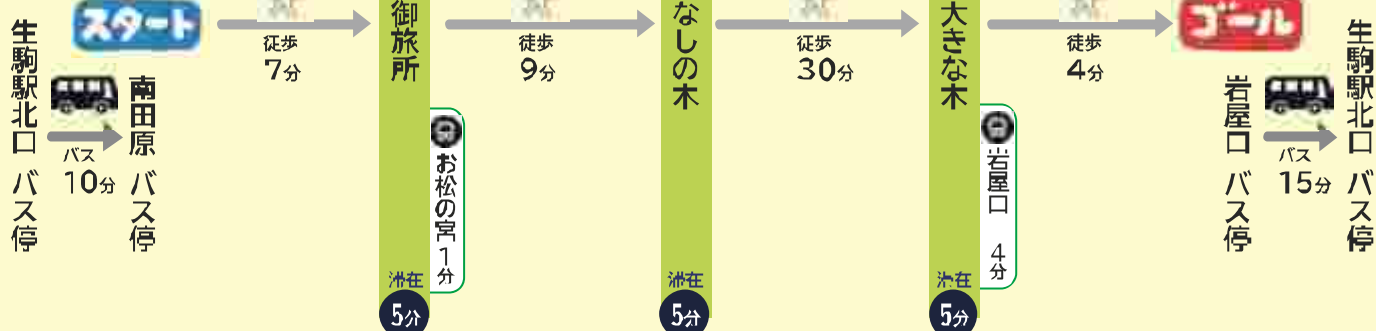


おすすめ時期
春・秋

このコースのポイント
季節を感じて歩くのが楽しい



コース案内



お出かけ例

生駒駅北口バス停 10:21発 → 南田原バス停 10:31着 → 約15分 1 散歩・散策 → 約15分 2 散歩・散策 → 約40分 3 散歩・散策 → 岩屋口バス停 11:58着 → 生駒駅北口バス停 12:14着発

1 御旅所



お松の宮バス停から徒歩1分。お旅所の石燈籠の「火袋(ろうそくの穴)」から、おまつ宮の本殿が見通せる。

2 なしの木



お松の宮バス停から徒歩10分。南田原町の里道。春になると木いっぱいになしの花が咲く。

3 大きな木



里道に1本の木。葉の茂る夏はここでひと休み。

2 ~ 3 天野川沿い



鳥観察ができる。近くの「ムスコ」もきれい。

2 ~ 3 川を見下ろすベンチ



歩いて知る南田原コース



所要時間
徒歩2時間

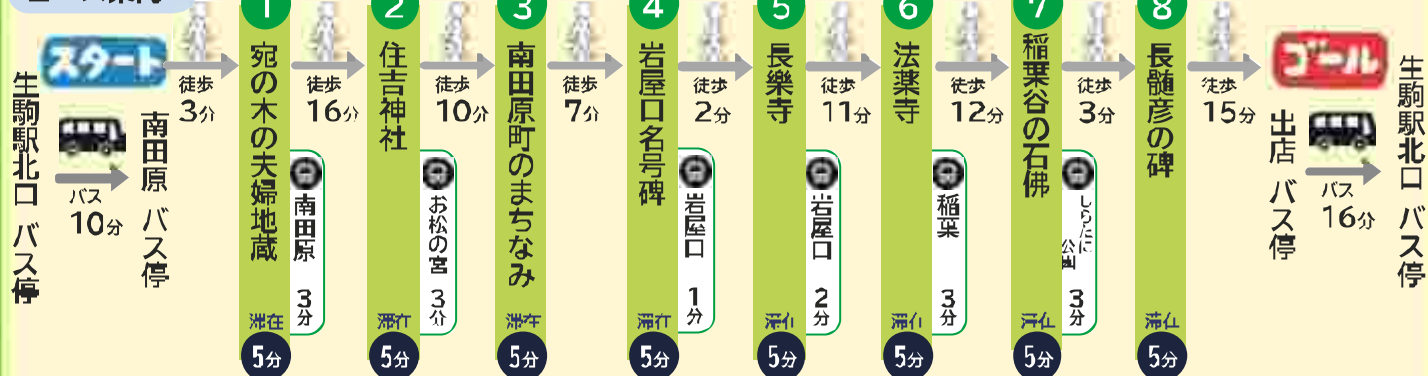
市 HP



おすすめ時期
通年

このコースのポイント
南田原の歴史を感じられる

コース案内



お出かけ例

生駒駅北口バス停 10:21発 → 南田原バス停 10:31着 → 約80分 (1, 2, 3, 4, 5, 6) 散歩・散策 → 約60分 (7, 8) 昼食・休憩 → 約40分 出店バス停 13:58着 → 生駒駅北口バス停 14:14着発

1 宛の木の夫婦地蔵



右側は地藏立像(鎌倉時代(推定))、左側は阿弥陀立像(室町時代(推定))。

2 住吉神社 (伝おまつの宮)



伝おまつの宮のいわれは、交野の磐船神々から松の苗を移したからといわれている。龍ヶ洲は、天野川の源流の1つで、いかなる干ばつにもかかれたことはないという。「布留之砦(ふるのひ)」には星の森の由米が記されている。

3 南田原町のまちなみ



古い大きな屋敷が多く残る昔ながらの風情を色濃く残したまちなみ。独特な外観をもつ茅葺きの大和棟の家なども現存する。

4 岩屋口名号碑



南無阿弥陀仏の自然石人字名号板碑は、慶長2年(1597年)の銘がある。となりの明治27年、力士の小雀與三郎(こすずめよさぶろう、本名:辻本与三郎)が、西側の田んぼに土俵をつくり記念相撲を真行したことにちなむ記念碑。

5 長樂寺



就通念仏宗。平安末期に牛まれた匡産念仏門最初の宗派。牛勢谷・高雄谷・平岩谷には融通念仏宗の信者が多い。本堂前から、鐘楼とともに望む牛勢山は絵になる。

6 法薬寺



通称:新塔堂(シンダンドオ)。18世紀末ごろの作という。当寺所有の「矢田地蔵縁起并地獄絵図」は、矢田寺の矢田地蔵信仰に関係するものといわれ、地蔵盆に開帳される。地蔵盆には数珠くりも行われる。

7 稲葉谷の石佛



通称:向田原の摩崖仏。「奉成就大峯山三十三度供養安永七年(1778年)五月吉日 南田原村庶主任左右衛門」の銘がある。

8 長髓彦の碑



日本書紀によると、神武天皇東征に抵抗した添下郡烏見郷(現生駒市北部)の豪族、長髓彦の本拠地という。記紀では、膳野山の西、草谷の地でこれを迎え撃った人々の先代者が長髓彦となっている。

南田原町
コース1

4寺社めぐり ～南田原の歴史を感じる～

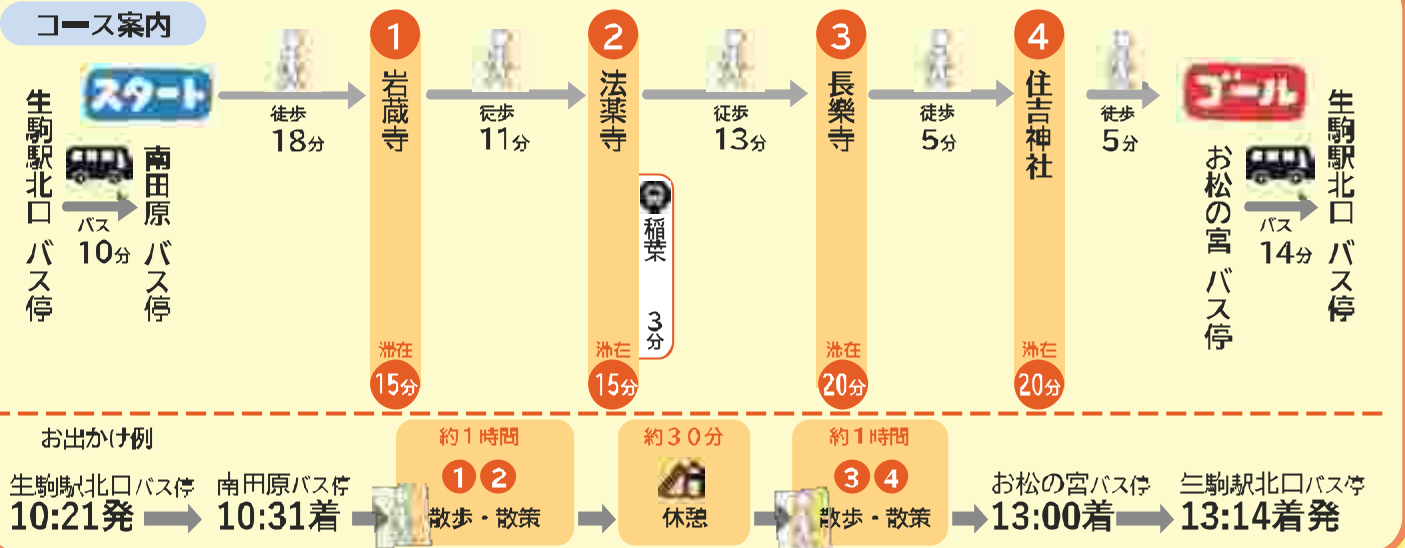


所要時間
徒歩2時間

市 HP

おすすめ時期
春・秋このコースのポイント
歴史散策が楽しい

コース案内



1 岩蔵寺



岩蔵寺は、真言宗御室仁和寺派の木寺で真言密教の修験道場として栄えた寺であったようです。寺伝によると、延暦年間(782~806)に伝教大師最澄が堂を建立、毘沙門天を遷し自作の「古刹天女禪尼童子」とまつり岩蔵寺と号す、とあります。

岩蔵寺の右側に岩を上げると、岩の上に弥勒菩薩像を拝観することができます。

2 法葉寺



新塔堂法葉寺は岩蔵寺の木寺で寛文年間(1661~1673)に開創されました。本尊は了安地藏尊で、安産祈願の寺として信仰を集めています。4月8日の薬師如来祭と、8月23日の子安地藏尊祭の両日には本堂が開かれて、普段は厨子に納められている仏像を拝観することができます。

3 長樂寺



融通念佛宗法性山長樂寺は、寺伝によると江戸時代初期(1600~1867)岸兼上人が開基、享保2年(1717)六世奉願の時、閉山しました。

現在の本尊は、寛政7年~文化2年(1795~1815)に創建されており、寺内では五輪塔や如意輪観音像などが拝観できます。

4 住吉神社



住吉神社は「おまつの高」の愛称で親しまれ、南北田原の住民の氏神である。大阪住吉神社の母体です。

住吉神社
WEBサイト

龍ヶ淵と雨乞い伝説

弘法大師の創設といわれるこの龍ヶ淵(りゅうがぶち)は清水常にこんこんと湧き、神社の森の葉陰をおとし、夏なお冷涼の清らかさを持ち続けていたであろうが、年月の過ぎた今日、泥と草で泥沼化し、見るかげもないが、如何なる早天(かんてん)続きであっても水の絶えることがない。かつてこの泉水の底を浚渫して雨乞い祈願をすれば、不思議にも早天に慈雨があたえられたといわれている。

天明の飢饉(1782~1787)から30~40年後、農家の人々が次第に豊かになり、木殿が建築されたと思われる(1823)。天保の飢饉(1833~1837)の際、雨乞い祈願の後「雨喜び(あめよろこび)」で拜殿前に石灯籠が奉納された。また、大正の米騒動もうち続く飢饉の後生じたもので、その疲弊から立ち直った大正15年(1926)に社務所が建立された。その頃に雨乞祈願が行われている。なお、この龍ヶ淵は大の川の淵でもある。

南田原町
コース2

七森めぐり ～七森信仰に触れる～

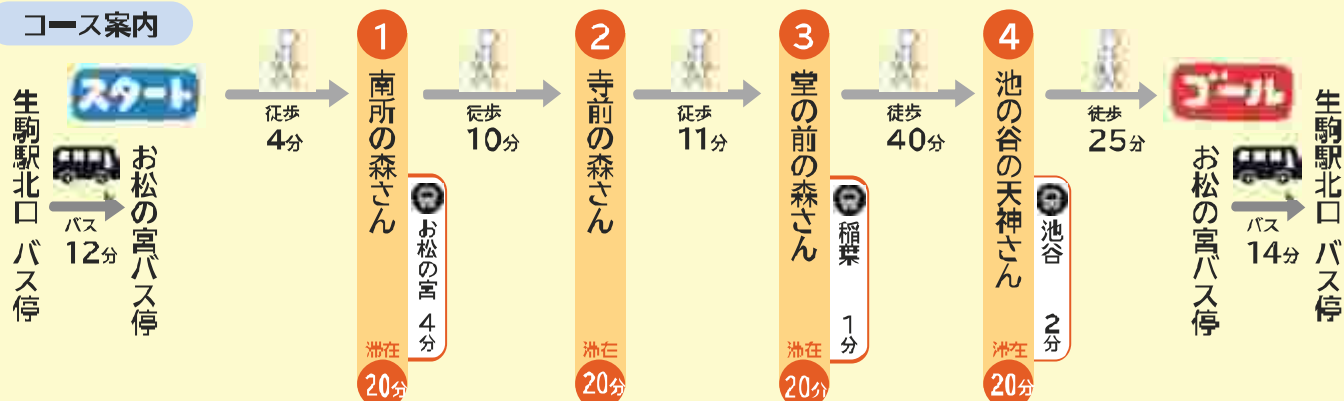


所要時間
徒歩3時間

市 HP

おすすめ時期
春・秋このコースのポイント
七森めぐりが楽しい

コース案内



お出かけ例



1 南所の森さん



石造物は常緑樹林の中にありましたが、平成5年(1993)宅地造成のため、現在地に移されました。石仏2基が拝観できます。

2 寺前の森さん



岩蔵寺の境内にあり、講の方々で祀られています。

3 堂の前の森さん



石造物は、元は人池の北側にありましたが、国道168号バイパス道路建設のため、現在地に移されました。妙見大菩薩の碑と石灯籠が拝観できます。

4 池の谷の天神さん



「天神さん」と呼ばれている立派な祠草があります。菅原道真公が祀られており、坪内の守護神として、元は「おまつの高(住吉神社)」の花台(山)を明治37年(1904)3月15日に移されてきました。毎年7月25日に坪内の諸の人々により祭礼が行われています。

南田原の七森(守)信仰

- ① 南所の森さん ・峯の森さん[星の森]
- ② 寺前の森さん ・岡村の森さん
- ③ 堂の前の森さん ・野所の森さん
- ④ 池の谷の天神さん

昔から生駒谷の村々には、垣内守としてそれぞれ固有の七森(守)があり「モリさん」と呼ばれ大切に伝承されてきました。現在も民間信仰の一つとして伝承されていますが、素朴な信仰(次第に衰微し消え去りつつあるのが現状)です。

モリの木を伐ると激しい祟りを受けると信じられていて、小枝一本折ってもいけない、枯葉一枚持ち帰ってもいけない、と禁じられてきました。戦時中に燃料が不足したときも、モリの枝には手をつけなかったそうです。禁忌を犯したために、恐ろしい祟りを受けたという体験談が、今も語り継がれています。

一方で、モリの多くは集落を取り囲むような位置に祀られており、外から疫病神などの邪悪なものが入ってこないように、集落を守ってくれる守護神の役目もありました。村境にあるモリでは、「カンジ」ウ線」を掛けて結界する行事を行っていたところもありました。

【ご注意】一般の方が安全に来訪いただける森は、ご案内している4つの森です。

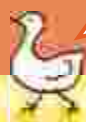
南田原町
コース3

石仏めぐりコース ～南田原の石造文化を学ぶ～

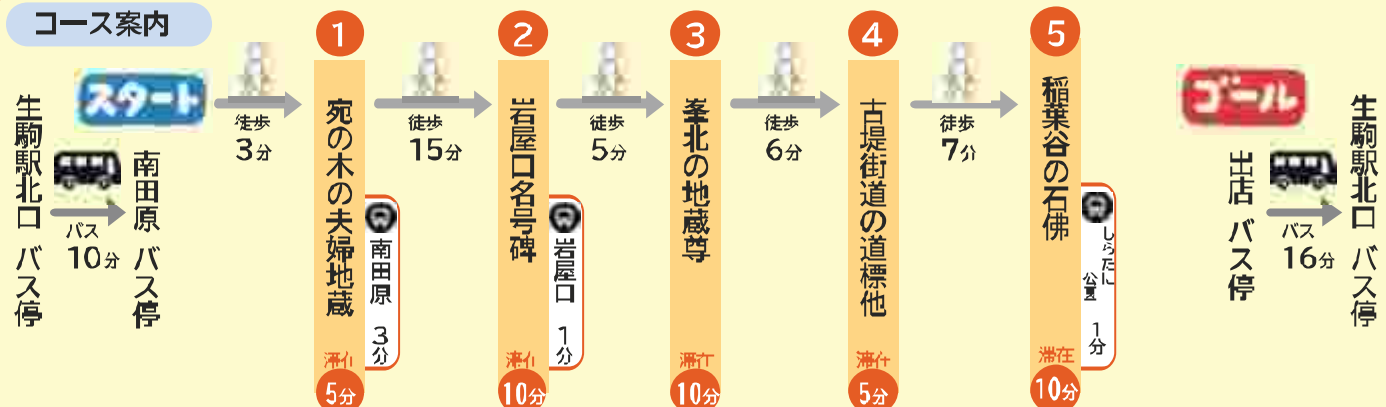


所要時間
徒歩2時間

市 HP

おすすめ時期
春・秋このコースのポイント
石仏めぐりが楽しい

コース案内



お出かけ例

生駒駅北口バス停 10:21発 → 南田原バス停 10:31着 → 約1時間 1 2 3 4 散歩・散策 → 約1時間 昼食・休憩 → 約30分 5 散歩・散策 → 出店バス停 12:58着 → 生駒駅北口バス停 13:14着発

1 宛の木の夫婦地蔵



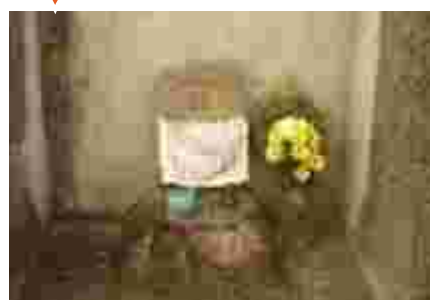
小川町と南田原町の境界(宛の木)にある木の古い地蔵で「夫婦地蔵」と呼ばれています。石室の中の二仏は、作風が異なり元は別々だったものを合祀したと思われる。

2 岩屋口名号碑



岩屋口バス停前にある石碑(自然石名号板碑、慶長2年(1597))は、力士小雀与三郎(本名:辻本与三郎)が、西側の田圃に二俵を造り記念相撲を興業した記念碑です。

3 峯北の地蔵尊



峯北内に、野仏のような地蔵尊があります。道路改修にともない現在の場に移されました。

4 古堤街道の道標他



内国橋東詰に府県境標があります。その東、天野川の堤の西側に大塔山十五度の石碑があります。

5 稲葉谷の石佛



磨崖修行者像・石灯籠

稲葉垣内、烏見浦池北西の路傍に地藏堂があります。堂の後方の石をよじ登れば行者磨崖仏があります。かつては堂の後方は鬱蒼とした松林でしたが、1地区市整理事業にともない改修工事が行われ、磨崖修行者像(安永7年(1779))や石灯籠などが遠くからでも拝めるようになりました。

北田原町
コース1

歴史と自然を楽しむコース



所要時間
徒歩4時間

市 HP



おすすめ時期
春・秋

このコースのポイント
歴史や自然の散策が楽しい



コース案内

生駒駅北口
バス停



北田原
バス停

バス
23分

スタート



徒歩
18分

1

磐船神社

滞在
25分



徒歩
20分

2

府民の森ほしだ園地

滞在
100分



徒歩
15分

3

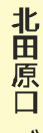
飯森霊園の公園

滞在
30分



徒歩
32分

ゴール



バス
22分

北田原口
バス停

生駒駅北口
バス停

お出かけ例

生駒駅北口バス停 北田原バス停
10:21発 → 10:44着

約30分

1

散歩・散策

約30分

2

昼食・休憩

約3時間40分

2 3

散歩・散策・休憩

北田原口バス停 生駒駅北口バス停
15:22着 → 15:44着発

1 磐船神社



12mの高さの巨岩を祀る神社。岩窟めぐりが有名で、滝行もできる。心霊スポットとしても有名。
※岩窟めぐりは、年齢制限(10歳以上75歳未満)があり、滑りやすく危険なため服装に注意が必要です。

2 府民の森ほしだ園地



3 飯森霊園の公園



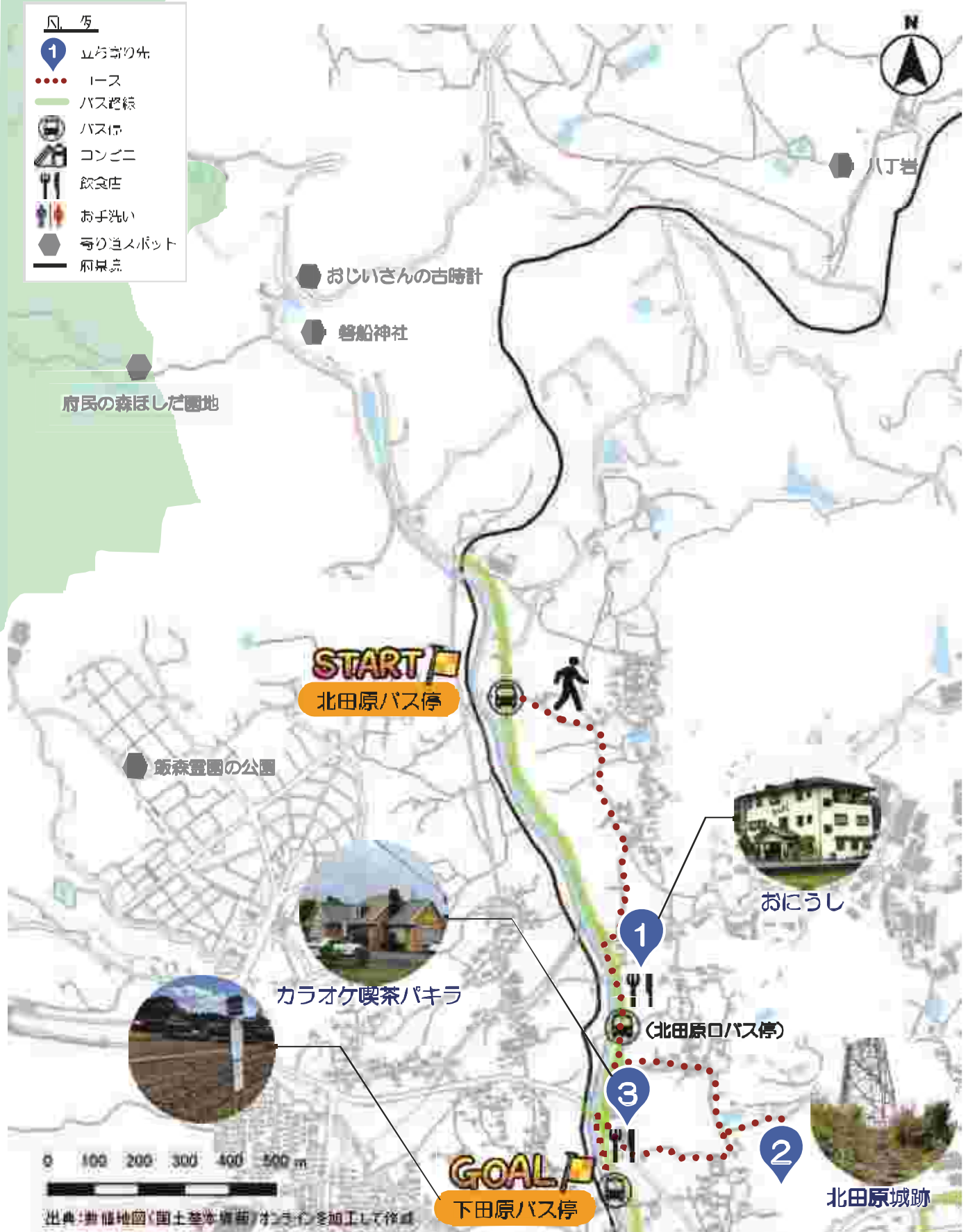
アスレチックを楽しむことができ、高台にあるため、北田原を一望することができる。
春は桜、秋はいちじくや紅葉がきれい。

大自然の中に広がる自然公園。ほしのブランコから眺める絶景は見事。
森林浴やバードウォッチングにも最適なハイキングコースが整備されています。
また、公園内には本格クライミングウォールがあり、初心者体験ゾーンもあります。

北田原町
コース2

北田原の歴史を歩くコース

- 凡 例
- 1 立ち寄り先
 - コース
 - バス路線
 - バス停
 - コンビニ
 - 飲食店
 - お手洗い
 - 寄り道スポット
 - 府県道



所要時間
徒歩3時間

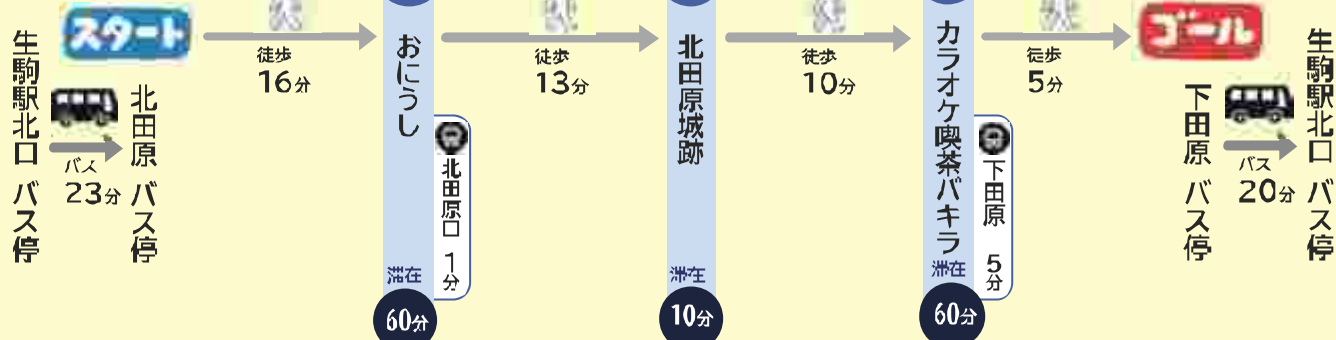
市 HP



おすすめ時期
春・秋

このコースのポイント
歴史散策や食事が楽しい

コース案内



お出かけ例

生駒駅北口バス停 10:21発 → 北田原バス停 10:44着 → **1** 昼食・休憩 (約60分) → **2** 散歩・散策 (約30分) → **3** 休憩 (約60分) → 下田原バス停 13:54着 → 生駒駅北口バス停 14:14着発

1 おにうし



肉料理がおいしいお店です。
昼食は、山形牛を使った焼肉定食がおすすめです。
冬は、おでんで一休楽しむのもおすすめです。

2 北田原城跡



江戸時代に編纂された「大和志」に坂ノ上丹後守が城主」との記述あり。
※現在、電力会社の工事中

3 カラオケ喫茶パキラ

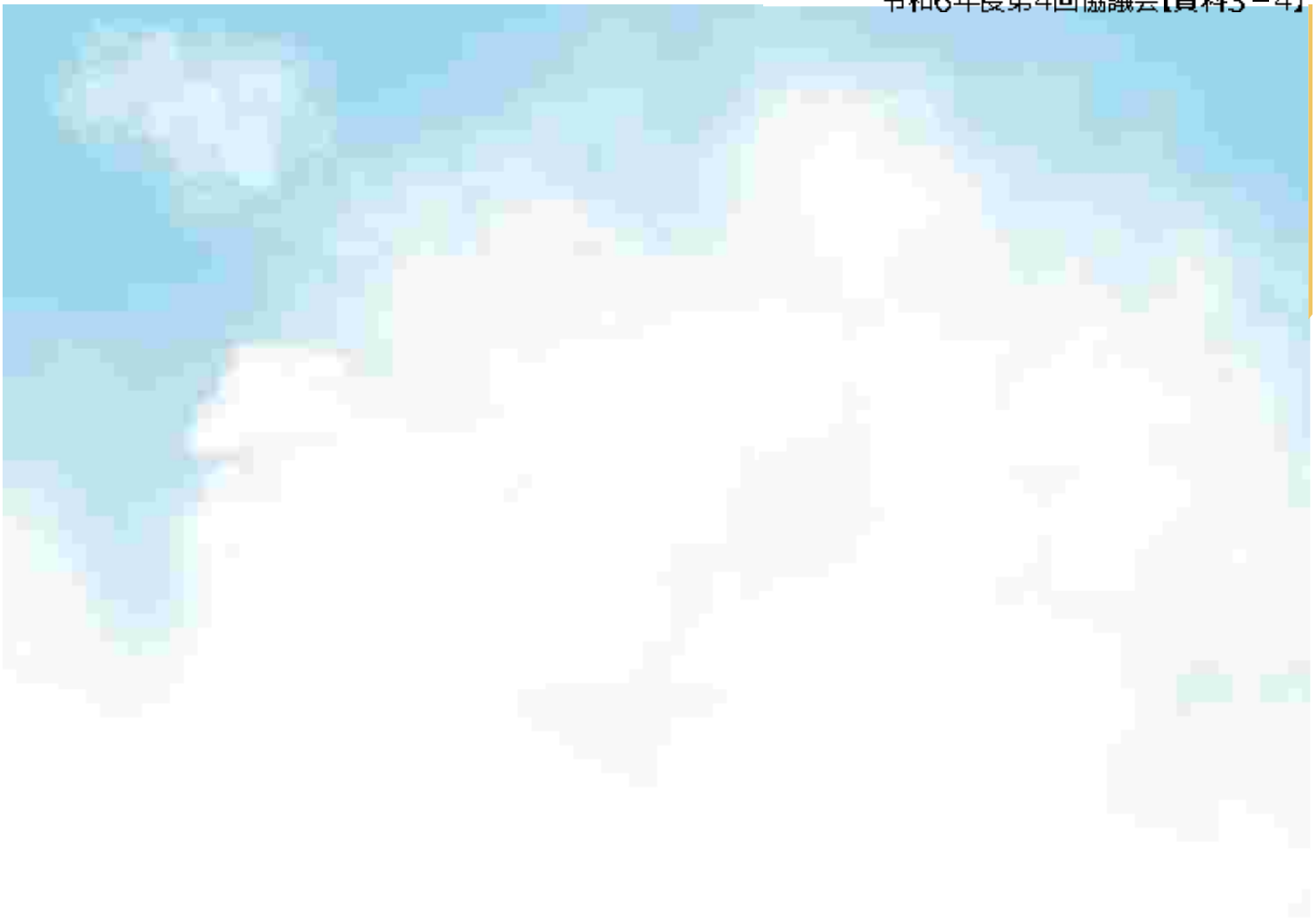


最高の音響の中でカラオケができます。
他府県からの利用者もいます。

八丁岩



八丁岩からの眺望がすばらしい。
北田原を一望できます。京都タワーも見えるかも。
(現在、道路が通行止のため、安全面から立ち寄り
は推奨していません)



制作にあたって

北田原線を今後も持続可能な路線とすることを目標に、「住民」「奈良交遊」「生駒市」の三者で利用促進に向けた話し合いを行い、北田原線沿線を楽しんでお出かけできるようなマップを作成しました。



企画・編集・制作：
奈良交通観光バス（北田原線）利用促進に向けた
三者協議メンバー



生駒市総務部防犯交通対策課

〒630-0288 奈良県生駒市東新町 8-38 TEL：0743-74-1111

北田原線沿線おでかけマップ Vol.1
2025 年 4 月発行